

グローバルリーダー育成海外短期研修事業専門高校生国外研修派遣決定

8月27日、県教育委員会より「平成30年度グローバルリーダー育成海外短期研修事業専門高校生国外研修」派遣選考結果が届きました。

応募者多数、実力伯仲、高レベルの中、見事田場友依登君(2-8)、川満昂瑠君(2-9)が11月の県費でのオーストラリア研修派遣の切符を手に入れました。

本研修の目的は「専門高校生を台湾、オーストラリアに派遣し、現地産業の視察や現地高校生、大学生及び沖縄県出身者との交流、インターンシップ等を実施することによって、グローバル社会に対応した農業、工業、商業等の産業振興を担う人材の育成を図る」とし、県教育庁県立学校教育課が主催するものです。

海洋生物系列に在籍している川満昂瑠君は、応募した動機を「グローバル化が進展する社会とはどのようなものか、外国の様子を見ることでその一端に触れてみたい。英語を勉強して、興味のある生物工学についてさらに深めたい」とあり、さらに現地ではオーストラリアにしかない動物(カンガルー、タスマニアデビル、コアラ等々)を観察したい」とありました。将来の夢は小学生からの夢である水族館スタッフになることで、理由を「生物全般が好きですけど海の生物は陸上の生物とは違う進化を遂げていることから研究意欲が湧いてきます」と将来の目標と学習とを意識づけた言葉があり感心しました。

情報通信系列に在籍している田場友依登君は応募の動機を「英語の習得と他国の文化、生活を学び日本との違いを肌で感じたい」とし、現地では特にオーストラリアの食事に興味があると、育ち盛りの食欲旺盛なところを見せていました。田場君は生徒会長も務め「第1級陸上特殊無線技士」と「航空特殊無線技士」の無線資格にも合格するなど多くの活動に意欲的に取り組んでいます。将来の夢は海上保安官(通信士)と淀みなく話していました。

インタビュー時は、始業式の日で兩人とも当日しか結果を知らされていなくて、何か狐につままれた表情をしていましたが、話を重ねるうちに会話が弾み、英語への興味や習得に向けてこれから頑張ると、その心は既にオーストラリアへ飛んでいるようでした。

事前宿泊研修が10月に行われます。本プログラムの趣旨である「グローバルな視点を持った世界で主体的に活躍できるリーダー」を育成する基礎作りを図るために、学習や訓練を重ね沖縄県の代表として「沖水」の誇りを胸に頑張っ欲しいものです。

